

考え議論する道德科としての授業 ～鍵となる視点とは～

考え議論する道德とのキーワードが打ち出され、教科化の実施に向けて準備が進められています。ただ、これまでの道德授業でも考えることは行われてきたとの声を聞きます。そこからさらにキーワードの意味を考えますと、一部の人だけの考える道德の実現ということではなく、全国の教師、全体の問題として、より広く一般化させて、考え議論する道德の実現を目指すということと捉えられます。

これまで、一部の人が努力して実現してきたことを、どのように分かりやすく成果をまとめ、より広げられるか、発展させられるのか、その道筋を見つけることが重要ではないでしょうか。

さらに、情報モラルや現代的な課題への扱いなど、新しい内容に対応する課題もあります。解説には「児童には、発達段階に応じて現代的な課題を身近な問題と結びつけて、自分との関わりで考えられるようにすることが求められる」と記述されています。そうした点にも、これまでの成果を活かした、考え議論する道德の発展が期待されています。

今回の道德教育シンポジウムでは、5名の講師より、現在の取組や授業を通して、道德科への準備の鍵となる指導と評価について提案をいただきます。ぜひシンポジウムをご活用いただきたく、ご参加をお待ちしております。

日時 8月20日(土)10:00～16:45 **場所** 上廣倫理財団UFホール
(懇親会 17:30～19:00) (東京都千代田区三番町 6-3)

申込 申込票を郵送、Fax、E-mail で送付下さい **参加費** 2,000円 (資料代・懇親会費として)
入場整理券を送ります。(先着60名)

スケジュール・講師

(敬称略)

提案の視点

- | | | | |
|----------|-------|----------------------------|------------------------|
| 発表1 | 三浦 研一 | (福岡教育大学附属福岡小学校教諭) | 『研究校の取組を研究主任として』 |
| 発表2 | 広中 忠昭 | (千葉県柏市立藤心小学校校長) | 『道德学習指導における多様な方法』 |
| 発表3 | 齋藤 眞弓 | (茨城県石岡市立府中小学校教諭) | 『解説道德編の文言を現場でどう具現するのか』 |
| 発表4 | 早川 裕隆 | (上越教育大学大学院教授) | 『道德的実践力と多様な指導法』 |
| 発表5 | 島 恒生 | (畿央大学教授) | 『道德科としての授業の指導と評価』 |
| コーディネーター | 櫻井 宏尚 | (福島県郡山市立行健小学校教諭、心の教育研究会代表) | |

スケジュール

- | | |
|-------|----------------------|
| 10:00 | 開会 |
| 10:10 | 発表 1～3 |
| 12:00 | 昼食・休憩 |
| 13:00 | 発表 4～5 |
| 14:15 | 休憩 |
| 14:30 | 質疑応答
全体討議
(休憩) |
| 16:45 | 終了 |

連絡先

公益財団法人 上廣倫理財団 道德教育シンポジウム係 担当 上田博次

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-3 TEL. 03-3261-8711 FAX. 03-3261-8747 E-mail ueda@rinri.or.jp

公益財団法人上廣倫理財団『道德教育シンポジウム』参加申込票

平成 28 年 月 日

フリガナ		フリガナ	
ご芳名		学校名 (勤務先)	
連絡先	〒 (学校 ・ 自宅) ○で囲む		
	E-Mail		
TEL.	FAX.		